

国語

出題の傾向

出題の傾向 昨年度と同じく、①～③の大問3つからの出題となりました。①の現代文は例年通り、評論文から漢字・語句の意味・品詞の識別・内容把握などを出題しました。また、②では「思考力・判断力・表現力」を問う形式の問題を、③の古文は、随筆や説話などから、語句の意味・内容把握などを、これも例年通り難解な言葉には語注や現代語訳で補助をして出題しました。各問題の配点は、現代文50点、新しい学力観に基づく問題25点、古文25点となっています。では、以下に本年度の入試について詳しく解説していきます。

2024 今年度の出題と解説

①の現代文は、『知ること、考えること』（外山滋比古）からの出題でした。人間の能力の可能性についての文章で、全体的には読みやすい内容であると思います。また、設問自体もこれまでと同じ傾向で出題していますので、しっかりと練習を積んだ受験生にとっては、スムーズに取り組める問題だったようです。

問1 漢字の問題

中学校までに学習した漢字の書き・読みから出題していますので、学校の授業などで漢字の学習をしっかりと積んでください。特に㊦「驚異」㊧「刺激」の正解率が低かったので、書き取りの問題の対策が必要だと感じました。誤答は「刺」の左側を「束」、右側を「女」と書いている解答が多かったです。日頃の勉強から、正確に読み書きをする学習を心がけてください。また、漢字を読み書きする力は、問題集などで鍛えることはもちろん大切ですが、読書や新聞、ネット配信のニュースなど、日常生活の中で活字を読むことで鍛えられる場面も非常に多いです。日頃から、意識的に言葉に触れる機会を増やしてみてください。

問2 国文法の問題（品詞の識別）

本校で毎年必ず出題される問題だけに、対策を立てて勉強してほしいと思います。この問題は、対策してきた生徒とそうでない生徒の差が大きく表れます。㉠は、「～い」で終わる形に戻せるので イ 形容詞。㉡は、「長らく」は「見誤る」を修飾しているので オ 副詞。㉢は、「～だ」で終わる形に戻せるので ウ 形容動詞。㉣は、直後の「知識」を修飾しているので カ 連体詞。㉤は、「大事にしなければならない（＝大事にする）」と言い換えると、その状態を打ち消しているのが ケ 助動詞。形容詞の「ない」と助動詞の「ない」の見分け方も本校の入試問題でよく出ますので、この機会に勉強をしてください。

問3 空欄補充の問題（選択）

空欄に、適切な接続詞を入れる問題です。それぞれの言葉の持つ働きと、空欄の前後の文脈を読み取る力が必要です。

ア たとえば…直前の内容をさらに具体的にする役割

イ そして…一つ目の出来事に続いて二つ目の出来事を続ける役割 ウ しかし…直前の内容と直後の内容を反対にする役割 エ ところで…直前の内容と話を変える役割 オ だから…直前の内容（原因）と直後の内容（結果）をつなぐ役割

接続詞は他にもありますが、まずはア～オの言葉の働きを理解し、問題を解いてください。

問4 空欄補充の問題（抜き出し）

解答になる部分が本文の後半にあり、探すのに苦労するやや難しい問題でした。

【問題の解法】

① 設問の説明文をしっかりと読む。「知識は多ければ多いと考え、と教育する」とあるので、「（私たちが）どのように教育されているのか」と考えます。

② ①は「とんでもない間違い」だととらえる。「（私たちが）教育されていた」ことは「間違い」と書かれています。

③ 本文から②に当たる内容を探して読む。本文の後半に「『忘れてはいけない』と教え込む」とあるので、ここが答えとなります。

入試問題だけではなく、定期試験や参考書などでも、このような解法で答えを出す訓練をしておきましょう。

問6 内容把握の問題（記述）

【問題の解法】

① 設問で問われていることを確認する。「素晴らしい能力、天才」とは何かを聞かれています。

② 傍線部の直前を見る。自分たちが生まれた直後の「素晴らしい能力、天才」について聞かれています。

③ 本文から②に当たる内容を探す。本文の前半は「赤ちゃん」の能力についての記述だったので、その部分を詳しく見ると、「たった四〇カ月ぐらいの間にことばをマスターする」「その中から不要なことばを捨て、大事なもののだけを拾って、自分自身の力で文法をつくりあげる」とあるので、ここが答えとなります。

【注意点】

「ことばをマスターする」だけでは正確な解答ではなく、

「教えてもらっていなくても」という内容も必要です。また「その中から」という表現は解答に書く際は具体的に答える必要があるため、「無意味なことばの中から」という内容も必要になります。今回は「赤ちゃんの能力」に関することとして「ことば」があげられています。その具体例の中には「英語の発音」に関する部分も含まれていますので、別解として「赤ん坊のときに英語を聞かせていけば、普通の日本人には難しい発音を聞き分けることができる」も正解とします。

問7 空欄補充の問題（選択）

空欄補充の問題を解くコツは、近くの記述からヒントを得る事です。□Xの直前の文章に「人間はずっと『忘れる』ということに恐れてきた。とにかく忘れてはいけな
いと思込んでいる」とあるので、「覚えること」＝「できる」、「忘れること」＝「できない」となるので、エが答えとなります。

問8 内容把握の問題（抜き出し）

「比喩」とは「同じことを別のものに例えて表現すること」です。つまり「忘却をすすめる働き」＝「別のものに例えている」と考えます。すると本文の最後の方に「頭の中のゴミ出し」とあるので、ここが答えとなります。

問9 会話文の問題 内容一致（○×）

本文中の内容とそれぞれの人の意見が一致しているかを確認します。本文の内容をしっかりと理解できていれば、それほど難しい問題ではなかったと思います。B君は「正確な知識でより難しい問題を解決することができる」Dさんは「人間は忘れることに特化（＝特定の部分に重点を置くこと）して」という部分が本文の内容と合わないので、×になります。

②の問題は、「新しい学力観に基づく問題」です。この問題は複数の資料から設問に必要な情報を選び、適切な解答を作り出すという内容になっています。また、これからの学習で最も重要となる、論理的思考能力をはかる問題でもあります。特にこの問題は生徒の発言がヒントになりますので、空欄の前後の発言に注意しながら、ヒントを探しましょう。

問1 論理的読解の問題（選択）

□Iは直後の「満足できる人が最も多い」・□IIは直後の「同じような考えの人は最も少ない」を「事前アンケート結果」の表から読み取ると「I群」はエとなります。そして□IVは直前の「2019年にはベスト10に入っていた」・直後の「2020年・2021年とまったくランクインしていない」という表現から【資料1】を見ると「II群」はクとなります。複数の資料を比較して考察する力が必要となります。

問3 表現力の問題（選択）

「自然・環境学習」の代表例としては「SDGs」になります。「SDGs」は「ゴミの削減」「地域の理解」

「地球温暖化」などの持続可能な社会を目指す取り組みのことです。その中でエの「製作体験」だけが「体験学習」となり、あてはまらない内容となります。

問4 情報処理・論理的読解の問題（記述）

正答率が低かった問題の一つです。Dさんの発言の内容をまとめると「『歴史学習』と『自然・環境学習』だけで半分を超えている（【資料2】）。これはうちの事前アンケート結果を見ると□V結果となっているのと同じ」となっています。つまり「事前アンケート結果」から「歴史学習」と「自然・環境学習」に当てはまるものを探し、解答を書く必要があります。よって「神社・仏閣」と「史跡・名勝」の合計が半数を超えていると書かなければなりません。誤答の多くは「歴史学習」と「自然・環境学習」という言葉を使い、事前アンケートの内容を書いているものでした。

問5 情報処理・表現力の問題（記述）

□VIの周辺の「A君」と「Cさん」の発言にヒントがありました。A君は「行き先にはあまりこだわっていない」「修学旅行の大きな目的は…」と答えています。Cさんは「誰とするかってとても大切なこと」と答えています。よって【昨年の修学旅行後のアンケート結果】を見る時は「普段あまり話さない友達とも話す機会があり、学年全体の仲が深まったと思う」と「もともと仲のよかった友達とも今まで以上に仲がよくなって楽しかった」の2つの内容から答えを書く必要があります。

③の「古文」の問題は、「宇治拾遺物語」からの出題でした。全体的に話の流れを理解することが難しかった人も多かったようです。対策としては現代語訳を参考にしつつ、「誰が」「どんなことをした」のかを丁寧に読めば、得点できたと思います。まずは、現代語訳を載せておきます。

【現代語訳】

昔、天竺（インドの古い呼び方）の人が、宝を買うために、銭五十貫を子ども持たせて行かせた。大きな川の端を行くと、舟に乗っている人がいた。舟の方を見ると、舟から亀が、首を出していた。銭を持っている人（＝子ども）は立ち止まり、その亀を「何に使うのか」と尋ねるので、（舟に乗っている人は）「殺して何かものにしようとするのだ。」と言う。「その亀を買います。」と言うと、この舟の人は「とても大切なことがあるから、準備していた亀なので、高い値段であったとしても、売らない。」ということ言うけど、それでも無理やりお願いして、この五十貫の銭で亀を買って取って、放した。

（子どもは）心の中では「親が宝を買いに隣の国へ行かせたお金を、亀に替えてしまったので、親はどれほど腹を立てるだろう。」（と思った）しかし親のもとに行かないわけにはいかないので、親のもとへ帰って行くと、道中で人が「ここで亀を売っていた人は下流の方で舟がひっくり

返って死んだ。」と言うのを（子どもが）聞いて、親の家に帰って行き、銭は亀と交換したことを言おうと思うと、親は「なぜ、この銭を返してきたのか」と聞かれたので、子どもは「そういうことはない。その銭はこうこうな（わけ）で亀と交換して、逃がしたので、そのことを言おうと帰ってきました。」と言うので、親は「黒い服を着た人で、同じ格好をした（人）が、五人、それぞれ十貫ずつ持って来た。これが、そのお金だ」と言って見せると、このお金はまだぬれていた。

なんと、買って放した亀は、（銭が）川に落ちて入のを見ると、拾って親のもとに子どもが帰らないうちに先に届けたということだった。

問2 内容把握の問題（選択）

正確に現代語訳しているものを選ぶ問題です。直前には「大切なことがあるから準備した亀」とあり、直後には「それでも無理やりお願いして」とあります。それら2つの情報から「いみじき値なりとも、売るまじき」の意味を考えると イ が正解となります。

問3 内容把握の問題（選択）

正確に現代語訳しているものを選ぶ問題です。直前には「親から宝を買いにもらった銭を亀と交換したので、腹を立てるだろう」、直後には「親のもとに帰って行く」とあります。ここから「帰りたいけど、帰った」という状況がわかるので、答えは ウ となります。

問4 指示語の問題（抜き出し）

「さること」＝「そういう」という指示語です。指示語は直前の内容から考えることが大切となります。この知識は現代文でも必要なものとなるので、覚えておきましょう。

問5 内容把握の問題（記述）

正答率が低かった問題の一つです。「黒い服を着た人」＝「亀が化けた人」という内容がわかっているならば、解答できたと思います。古典にはこのような不思議な話がよく載っています。古典の特性を理解し、慣れるということも大切です。また「黒い服を着た人5人が一人十貫ずつ持って来た（5×10貫）」＝「亀を買い取った金額（五十貫）」が同じ金額であったことに気づくことも大切になります。

問7 内容把握の問題（選択）

「教訓」とは「過去の経験や出来事から得られる学びや反省」ということ。つまりこの話から読んだ人たちは「どのようなことを学ぶのか」ということを知っています。「亀を買い取って川に放した→その恩返しに亀がお金を戻しにきてくれた」という内容がわかっているならば、ア を選ぶことができるでしょう。

対策と アドバイス

現代文の問題は、設問から、「何を答えれば良いのか」ということを読み取った上で、本文をじっくり読めば必ず解答を得られるようになっていきます。練習の際には、たまたま正解した、間違っただけで一喜一憂するのではなく、自分でしっかりと根拠を持った解答をし、解答に至る道筋が本当に合っていたのか、しっかりと解説を読んで理解しましょう。時間がかかるかもしれませんが、そうすることで本当の実力がついてきます。また、日頃から読書の機会を持つことで、語彙力を増やし、文のつながりや構造を理解する力＝「読解力」を養うように心がけましょう。来年度も、「漢字・口語文法（品詞の識別）・語句の意味」など基本的な言葉の知識を中心に出題する予定です。本校独自の問題については、必ず得点できるように対策を立てることが大切ですが、全体的には、中学校の授業で学習したことを正確に身に付けることを心掛け、問題を一つでも多く解くようにしてください。また、日頃から常に文章（活字）に触れることが一番です。読書を通じてしっかりと読解力をつけ、問題演習を通して、本文の中から答えを探し出す訓練を積んでください。また、学校によっては古文への取り組みが少ない学校もあるかも知れませんが、本校の古文の問題は、現代語訳での補助も多く、主に「文脈を判断する」問題になっていますので、日頃から古文に触れておくだけでも十分な対策になります。市販の問題集などを使って、文中の分かる言葉をつなげて、話の大筋をつかまえる練習を積んでおくとも良いでしょう。新しい学力観に基づく問題については、今年と同様に、それほど特異な出題はしませんが、やはり何も対策をせずに本番を迎えるのは不安だと思います。学校などでも同じような問題に取り組む機会があると思いますし、近年では全国の公立高校で同様の問題が多く出題されています。学校の授業での演習の機会を大切に、公立高校の過去問題を調べたりして、地道に練習を重ねてほしいと思います。また、直前入試対策説明会（12月）では、模擬問題（新しい学力観に基づく問題）の解説を予定しています。本校で実際の問題に触れてみるのも貴重な経験になりますので、是非足を運んでください。最後に、国語力は、全ての教科の基礎とされています。国語の力が伸びれば、他の教科にも必ず良い影響をもたらしますので、しっかりと勉強して下さい。